

# 平成28年度 上田市立第一中学校自己評価シート

学校教育目標	体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成	総合評価
平成28年度の重点	<p><b>【今年度の重点目標】</b>  <b>～自己肯定感を育み、自信や誇りを持つために～</b>  <b>1 学力の保障</b> 「日々の授業の充実」「放課後学習等の活用」「家庭学習の充実」「体力づくり」  <b>2 集団適応力の育成</b> 「生活の重点の徹底」「認め合う集団づくり」「道徳教育・人権教育の充実」「小中連携を通しての支援」  <b>3 個に応じた自立に向けた支援</b> 「特別支援教育の充実」「外国籍生徒支援の充実」「キャリア教育のつなぐ力を意識した取組」「部活動、部活動指導の変革」  <b>4 安全・安心な学校づくり</b> 「いじめを許さない学校」「環境整備の点検・充実」「危機管理の意識向上」「体罰・ハラスメント・暴言の根絶」</p>	<p>全般として、落ち着いた学校生活を送り、集中して授業に取り組んでいる。従って、12項目に渡って、高く評価している。学習に関しては、後期になると学年差が特に見られる傾向がある。今後も継続して授業改善や家庭学習の充実を進めていきたい。認め合える集団づくりでは、個々の生徒への指導や支援とともに人権意識や自主性の醸成に今後も努めていきたい。</p> <p>好ましい生活習慣の形成や体力の向上、家庭や地域との連携において、互いに情報交換や共有化を留意し、学校教育目標「体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成～自己肯定感を育み、自信や誇りを持つために～」に向けて、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>

評価基準：75%以上達成でA、55%以上達成でB、40%以上達成でC、それ未満をDとしました。

領域	評価項目	評価の観点	実績	評価				改善策・向上策
				A	B	C	D	
教育 活動	重点1 学力の保障	ねらいは明確か、学習意欲を高める発問、板書、教材の工夫があるか。【質問1】	授業が分かりやすいと評価する生徒が、前期後期とも、約90%を維持している。	○				どの学年も、後期に入ると%が若干下降する傾向がある。学習内容の深まりに対応した教材の工夫をしていきたい。
		自らの意見を積極的に発表する場が設定されているか。【質問2】	昨年度は、前後期ともに約60%であったが、後期の評価が、前期から、7%の上昇が見られ、A評価に近づいている。		○			今後も、更に学級集団の人間関係や関わりを大切にし、発表の機会を工夫し、表現力を高めていきたい。
		評価場面の見とどけは十分か。【質問3】	授業の学習の見返しを行っているという生徒が前後期ともに80%台を維持している。	○				1年では、「あまりそう思わない」が10%以上上昇している。評価場面の見とどけの内容・方法について、更に改善していきたい。
		予習・復習の定着を図っているか。【質問4】	後期58%の生徒が、定着の維持を意識している。前期から2%上昇した。		○			授業内容と家庭学習の関連に留意して更に習慣化を進めていきたい。昨年から、各教科の家庭学習の見直し・改善を進めている。
		徒歩による登下校を促し、運動推進支援に努めているか【質問5】	昨年度同様85%の生徒が歩いて登下校している。	○				更に保護者との連携や協力を深めて、改善・向上を図ってきたい。
		【学校関係者評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観での生徒の姿から、真面目に一所懸命取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>各教室でのアウトプット型の学習や個々の目標や思いの掲示が評価できる。</li> <li>生徒主体の授業は評価できるが、学校として全面に出て更なる主体性を促してほしい。</li> </ul>					
	集団の一員として、個を大切にしながら自主的・自律的な行動ができるよう支援に心がけているか。【質問6】	どの学年生徒も、お互いの立場を認めながら集団生活を行っているという回答が90%以上になっている。	○				生徒会活動や学級活動の中で、自主的・自立的な活動が更にできるように支援していきたい。	

	<b>重点2 集団適応力の育成</b>	生活のきまりを守って生活するよう支援をしているか。【質問9】	94%以上の生徒がきまりを守って生活していると回答している。	○				諸活動を通して、生徒が互いに批正し合える場をつくり、更に自律心や協調性を育てていきたい。
		生徒の思いに寄り添いながら、自己肯定感を高める支援をしているか。【質問13】	自分を認めてくれたり、相談にのってくれたりする方がいるという回答が83%以上になっている。	○				自己肯定感が低い生徒の存在を踏まえながら、カウンセリングや相談機能の研修を図っていきたい。
		【学校関係者評価】	・学校便りや校長講話から、個の生徒を大切に、一人一人の生徒に寄り添う学校の姿勢がとても感じられる。					
	<b>重点3 個に応じた自立に向けた支援</b>	地域の中で育つ中学生の育成を目指した活動をしているか。【質問10】	地域活動に意欲的に取り組んでいるという生徒が、80%以上になっている。	○				総合的な学習や文化祭、キャリア教育、交流教育などで、地域との連携をより図り、地域との交流の機会を、今後も充実していきたい。
		生徒たちは、毎日休まず登校することができたか。【質問11】	昨年度同様、94%を超える生徒が休まず元気に登校している。	○				皆勤・精勤を呼びかけ、健康であることの大切さの意識を継続して促していきたい。
		部活動に加入させ、積極的に参加するよう促しているか【質問12】	部活動入部生徒の87%は、達成感や充実感を得ることができている。	○				今年度行われてきた部活動指導の変革にかかわる部分を更に評価し、部活動を充実させていく。
		【学校関係者評価】	・気持ち良いあいさつをしてくれる生徒が多い。 ・不登校生が多い実態を受け止め、この大きな課題に向けて更なる支援を進めてほしい。 ・家庭環境の変化が不登校に影響しているが、保護者と生徒のつながりに関わる支援を継続してほしい。					
学校運営	<b>重点4 安全・安心な学校づくり</b>	学校内や地域でもあいさつをする態度を意識させる支援を行っているか。【質問7】	前後期とも、生徒の回答は90%以上が達成感を自覚していて、保護者も80%を超えている。	○				生徒会活動や部活動など諸活動と連携しながら、更に地域でのあいさつの輪を広げていきたい。
		清掃を中心とした自らの身の回りを意識した支援をしているか。【質問8】	前後期とも、92%の生徒がしっかりと取り組んでいると回答している。	○				生徒会活動・清掃指導の成果が出ている。今後も清掃へ取り組む意識の向上を深めたい。
		開かれた学校づくりを目指した支援をしているか。【質問14】	昨年同様、約70%の生徒や保護者が、学校での出来事を家で話すと回答している。		○			各種通信、学校HP、オクレンジャーなどを活用して、より速く正確な情報の発信を継続していきたい。
		安全・安心な環境づくりを意識した支援から、自己防衛意識を高めているか。【質問15】	85%以上の生徒が、「自分の身を守ること」への意識が向いている。	○				インターネット関連の教師の研修と、実践事例からの授業等を連動させながら、更なる意識向上を進めたい。
		【学校関係者評価】	・一人一人の生徒、保護者を含めて、大切にしてもらっている。今後も継続して、温かく見守ってほしい。 ・信州型コミュニティースクールについては、外部コーディネーターを中心に推進させている。今後も、学習支援ボランティアを含めた地域の支援者を更にピックアップして、校内支援の充実を図っていきたい。					